

Doスポーツ!

～ 山北町スポーツ推進委員だより ～

VOL.33

令和 8 年 3 月 1 日発行

編集発行／山北町スポーツ推進委員協議会
山北町教育委員会生涯学習課内
TEL 0465-75-3649

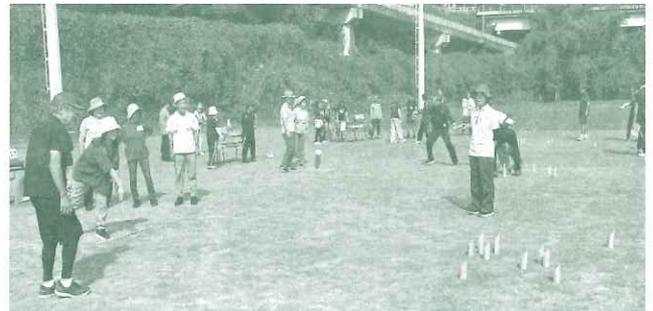
やまきたスポーツの秋祭り 第1回モルック大会



10月5日(日)の第4回やまきたスポーツの秋祭りにおいて、山北町では初の「モルック大会」が開催されました。当日は良い天候で絶好のモルック日和となりました。9チーム総勢27名の方々が参加され、町外からの参加もありました。

開会式のあと競技のルールと大会の概要を説明しました。今大会では、まず3チームずつのブロックに分かれて総当たり戦を行ない、そこで決まった同順位の3チームによるブロックに分かれ、再度総当たり戦を実施しました。そしてそのブロック毎の1位同士3チームで最後の総当たり戦で順位を決定する、という方式をとり、皆さんが少なくとも4試合はできるようにしました。

モルックが初めての方も多く、それぞれ1試合目はチーム内でのミスが続いて失格になるチームがいくつか出ました。しかし気温の上昇と共に身体も温まってきて、またモルックに慣れてきた事もあり、2試合目はかなり上達し、失格するチームはありませんでした。



優勝決定戦では、3チームともここまで勝ち上がってきただけある実力を発揮しました。周りから「ナイス・モルック!」との声がかかる素晴らしいプレイを度々見せ、とても白熱した試合が繰り広げられました。見事優勝を勝ち取ったのは、三保地区から参加した「のりだー」チームでした。

初めての企画でしたが参加者の皆さんには大変好評で、終始笑い声や歓声の絶えない楽しい大会となりました。また、次回の開催を望む声もあったので、引き続きスポーツ推進委員の活動として取り組んでいきたいと思えます。

道具の貸し出しや講師等の派遣を希望される方は、気軽に山北町教育委員会生涯学習課(75-3649)へご連絡ください。



足柄上地区スポーツ推進委員研修会

5月25日(日)、令和7年度は山北町が主催で南足柄市・松田町・開成町・大井町・中井町のスポーツ推進委員の研修会を行いました。この研修会は、スポーツ・レクリエーションに対する理解と関心を深め、各市町の交流・情報交換の場として、また、スポーツ推進委員としての資質向上の機会として毎年行われています。

各市町から、山北町でしかできないカヌーを体験させてほしいという要望が多かったためカヌーを予定していましたが、前日からの大雨でカヌーが実施できず、山北町立生涯学習センターで「防災スポーツ」を行いました。

☆防災スポーツとは？

「防災スポーツ」は、災害の多い日本で、子どもから高齢者まで楽しみながら防災意識を高められる体験型防災教育プログラムです。地震や台風、火災などの災害はいつ自分の身に降りかかるかわかりません。「防災スポーツ」は、災害時の動きを競技形式で体験しながら学べるため、楽しさと学びを両立させた新しい形の防災活動として注目され、近年実用性を兼ね備えた革新的な防災教育手段として全国に広がっています。



☆研修では、こんなことをしました

「防災スポーツ」研修会では、3つの競技を行いました。

1つ目の競技はバケツリレー。火災の際、初期消火に欠かせないものです。バケツに水の代わりにゴムボールを入れ、ボールを落とさないように次の人に渡していくゲームです。山盛りのボールを落とさず運び、落とさないように受け渡すのに皆さん苦勞していました。

2つ目の競技は、毛布 de 救急搬送。怪我人に見立てた人を毛布の担架に乗せて6人で運ぶスピードを競う競技です。毛布に乗せる人や運ぶ人の体型や重さを考えながら、怪我人役の人の位置をどこにしたらいいか考えたり、声かけのリーダー役を決めたり、息を合わせて運ぶことがとても難しかったようです。



最後の競技は、大声コンテスト。火事を発見したとき、まず第一にすることは、「火事だ〜！」と大声を出し周りの人に知らせ助けを呼ぶことです。今回は、「食べたいもの」・「やりたいこと」・「いま怒っていること」、3つのテーマから好きなものを選んで叫び、1チーム3人の合計デシベルの高さで競いました。「ウナギが食べたい!」・「お小遣い増やして!」など、皆さん思いの丈を叫んでいました。

今回の「防災スポーツ」は、各市町合同チームで行いました。初めて顔を合わせた方も多くいましたが、「防災スポーツ」を競技として行ったことで、グループ全員で知恵を出し合い、安全・確実に協力をし、体を動かしながら、楽しく防災について学ぶことができました。「防災スポーツ」を通じて自分や家族を守るために、日常から災害に備えることも大切だと感じた研修でした。



参加した各市町からの体験談

南足柄市

足柄上地区スポ推研修会では大変お世話になりありがとうございました。当日は、カヌー未経験のメンバーも多く楽しみにしていただけに大変残念でしたが、山北町スポ推メンバーによる「防災スポーツ」は非常に新鮮な体験となりました。今までレクとして防災をとらえた経験がなく、機会があれば自治会の防災訓練などに取り入れていきたいと思いました。

久々の中川BBQもたっぷりの肉を大変美味しくいただきました。今回は予定変更で運営スタッフの皆さんは大変だったと思いますがちょっとバタバタしている姿にむしろ一生懸命さを感じて「ありがとう！」という気持ちになりました。

南足柄市スポーツ推進委員 会長 加藤晴彦



開成町

この度は、研修会を開催いただきありがとうございました。研修会に参加できたことで、「防災とスポーツを融合した内容」を楽しく学ぶことができました。バケツリレーや救護者搬送リレーでは協力する大切さを実感し、情報交換会では他の地域との交流が深まり、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

開成町スポーツ推進委員 一同

大井町

カヌーが雨で中止となりましたが、代替の「防災スポーツ」は有意義でありました。「防災スポーツ」という言葉は初めて聞いた言葉であり、どのようなものなのかわかりませんでしたが、ミニ運動会のような雰囲気で行われ、参加者みんなで楽しめるものでありました。楽しみながらも防災への意識づけにつながると思うので、町のイベントや自治会の防災訓練で行っても有効かと感じました。

大井町スポーツ推進委員 一同

中井町

あいにくの空模様で、「防災スポーツ」というあまり馴染みのないものに対して少々戸惑いました。しかし、その内容はとてもシンプルであるだけでなく、競技性もあり、さらに防災意識の醸成にもつながるものでした。

楽しめるだけでなく、多くの学びを得られる研修会を企画いただき、ありがとうございました。

中井町スポーツ推進委員 一同

松田町

当日は悪天候のため予定されていたカヌー実技研修が中止となり、残念でしたが、山北町さんのお陰で大変有意義な時間となりました。

「防災スポーツ」ははじめての経験でしたが、推進委員の方々からも、楽しみながら防災意識を高められると大変好評でした。

特に、毛布 de 救急搬送は、いざというときに焦ってしまうと思うので、経験しておくことは有益であると感じました。

かなり準備が大変だったと思います。事務局の方々はお疲れ様でした。

松田町スポーツ推進委員 一同

山北町立生涯スポーツ学習センター(でごにいスポーツハウス)

旧山北体育館跡地に昨年4月にオープンした山北町立生涯スポーツセンターは、「かながわ県産木材」を100%使用し、神奈川建築コンクール最優秀賞・グッドデザイン賞・ウッドデザイン賞・木の建築賞を受賞した意匠に優れた建物です。

武道場・ダンス体操室・ミーティング室のほか、更衣室・授乳室も完備しており、暑い時期にはクーリングシェルターとしての役割も担っています。

柔道・剣道・合気道・空手などの武道を始め、ヨガ教室・子供体操教室・ダンス等さまざまな団体が利用しています。予約利用が無い時間には予約なしで利用できるため、卓球・ピククルボール・ボッチャ・ドッチビー(用具はセンターで貸し出します)等、個人の方にも利用されています。

また、やまきたスポーツの秋祭り期間中にはイベントが行われ、昨年12月には累計来場者数が1万人を突破しました。

入館した途端に木の香りに包まれ心身ともに癒されますので、町民の皆さんもぜひご来場ください。

<利用時間>

午前9時00分～午後10時00分

※ただし、午後5時15分以降は、利用予約がある場合のみ、利用時間終了まで開館

<休館日>

毎週木曜日、祝日のある週の金曜日
年未年始(12月28日～1月4日)

<一般使用料>

使用区分	小人	大人
町内在住者	無料	100円
町外在住者以外	100円	200円

※予約利用がない時間は一般利用できます

<貸し出し用具>

卓球用具1回100円 ボッチャ1回200円 ピククルボール1回500円



山北町ボランティア連絡協議会 新年ボランティアのつどいに講師派遣



令和8年1月15日(水)山北町立生涯学習センターにて新年ボランティアのつどいが行われ、山北拍子木の会の皆さんによる大型紙芝居「御殿場線物語」の鑑賞、スポーツ推進委員が「タオルを使ったストレッチ」と「じゃんけんゲーム貨物列車」を、参加者と一緒に楽しみました。

タオルを使ったストレッチは、日頃使わない筋肉を動かすので、体操が終わる頃には、体から汗が噴き出して来ました。

貨物列車は、曲に合わせて歩き、曲が終わったところで相手を見つけじゃんけんをし、負けた人は勝った人の後ろにつき、参加者全員で一列の電車になるまで行うゲームです。

ルールも簡単なので、皆さんじゃんけんの勝ち負けに「勝った～!」「残念!」と、列車がつながるごとに一喜一憂されていました。皆さん童心に返ったように楽しんでいました。

列車の一番先頭になった方には、メダルのプレゼント。折り紙のメダルでしたが、宝物をもらったような満面の笑顔でした。

